



## 講師インタビュー：「問い」で未来を創る人

今日は、7月19日（金）15時より開催予定の『クイズと教養で鍛える AI 時代の未来の「問う力」研修体験セミナー』で講師を務める、クイズ作家の近藤仁美様にお話をお伺いしましたので、そちらの記事を掲載させていただきます。

1. 現在のお仕事や活動について教えてください。

近藤さん：  
文字通り、クイズを創るお仕事です。今年の末で17年目になります。

クイズ作家は、TV やイベント、雑誌・新聞のクイズ番組の問題を作成したり、企業のプロモーションなどでクイズや雑学を提供しています。

現在、クイズ作家は日本で10人程度しかおらず、その中でも女性はほぼ一人になっています。クイズや雑学に関する書籍も何冊か出させて頂いております。

2. 今回のプログラムを開発したきっかけを教えてください。

近藤さん：  
元々私自身が本来話が得意でない方なのですが、問い方の工夫をすることで、相手の反応を変えたり、うまく場を盛り上げることができたという体験がありました。

あまり話が上手ではなくても話を盛り上げることができるというのが、「問い」の力に目を向けるきっかけになりました。クイズの手法を対話の中に組み入れることは有効だと気づいたので自分の中に留めておくのもったいないと思い、プログラムにしました。

3. 今回のプログラムを通じて解決したいこと、目指すことを教えてください。

近藤さん：  
人間の脳が AI よりも向いているもの必ずあると思っておりまして、適切な「問い」を立てれば、人間ならではの動きができると思います。たとえば、相手の表情から理解度を読み取り、問うた内容について考える時間を調整すること人間の方が得意だと思います。



確かに相手の表情や声のトーン、言葉のアクセントでも伝えている文字は同じでも伝わり方がかわるように思います。特に相手の雰囲気やその方との関係性や前段のやりとりなどを総合的に判断することができるのは人間だと思います。

## Next Seminar

THU

6/27



Jun,27,2024

6/27 『求人媒体に頼らずに1/10以下の採用コストで応募を集める方法』セミナー

採用コスト1/10に!低予算で優秀な人材を集める方法を伝授。リスティング広告のセミナー。効果的手法を無料セミナーで公開。経営者・人事必見、無料診断の参加者特典もございます!  
詳細はこちらです。 <https://qr.paps.jp/IDadW>

FRI

7/19



Jul,19,2027

クイズと教養で鍛える AI 時代の未来の「問う力」研修体験セミナー

今回の講師は、日本でただ一人しかない女性のクイズ作家であり、数々の有名なクイズ番組や企業や映画のプロモーションにも問題が採用されている講師からクイズを通じた「問う力」を学ぶ研修の体験セミナーです。

詳細はこちらです。 <https://qr.paps.jp/IDadW>

TUE

7/23



Jul,23,2024

7/23 4つのビジネスリテラシーを鍛える魔法のゲームキューブ研修体験セミナー

本セミナーでは、赤・青・黄・黒の4種類の木製キューブを使ったゲームを通じて、ビジネスに必要な創造力、チームビルディング、交渉力、イノベーション力を学びます。参加者はチームで協力しながら戦略的にゲームを進め、実際のビジネスシーンで役立つスキルを楽しみながら効果的に身につけることができます。

詳細はこちらです。 <https://qr.paps.jp/IDadW>

適切な「問い」に対する幅であったり、量を把握している人間だからこそ、そういった調整をその場で行うことができるのだと考えます。

「問い」によって、教養の入れ方も上手になります。明日の話題と教養を効率よく入れることもできるようになります。

それが人間ならではの動きであり、出せる成果だと思えます。

教養がインプットだとすれば、「問い」がアウトプットです。

このプログラムを通じて実現したいことは、話すことが苦手な人にプログラムを提供することで、会話のラリーを円滑にし、相手からほしい情報を引き出せるようにすることです。

役に立つ情報の入れ方を学ぶことができると思います。

クイズを使って、相手に話してもらうことで、自分の話題の提供の仕方が上手になりますし、聞いても仕方はないことを納得して切れるようになると思います。

5. プログラムのこだわりを教えてください。

近藤さん：  
「問い」を意識的に立てる体験をしてもらうことは他ではあまりないと思います。

4. 今回のプログラムの特徴は何でしょうか？

近藤さん：  
人間は、1日に35000回「問い」をしているといわれています。皆さんも、その「問う」質を考えたことがあることがありますか？

「問い」に対する専門家がコメントすることで、「問い」を考えるきっかけになれば幸いです。クイズのプロが講師で研修をやるのはほかではないと思います。

「問い」の質をよくすれば生活や仕事のアウトプットがかわり、欲しい結果が得られるようになります。

6. 購読者へのメッセージをお願い致します。

「問い」のたてかたによって、「問い」の質が向上すると思っています。

人は、モノを問うことから逃れがたく、モノの「問い」方が変われば仕事のアウトプットが変わります。

研修の中で、クイズをするというのはあるかもしれませんが、研修のワークショップの中で、クイズを作ってみるといのは珍しいと思います。

日常会話がうまく続かない方、自分がモノを問うことに不安がある方、問うてもよい答えが返ってこない方、レスポンスが微妙な方、アウトプットをワンランクアップしたい方にはぜひご参加頂ければと思います。

しかもこうやればいいということ、クイズのプロがいる場で実践できますし、その場で自分が作ったクイズ、いわば「問い」への反応がわかるので、「問い」の力の伸びが早いと思います。

詳細は以下にございます。

<https://qr.paps.jp/IDadW>

ぜひ皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

Under Planning



戦略的雑談研修体験セミナー

9月に久しぶりに戦略的雑談研修の体験セミナーが決まりました。

近日中に日程含めて詳細をご案内させていただきます。



【コラム執筆】

人と人、人とコトの仲をつなぐ  
仲津定宏

クイズを通じたAIと人間の役割の見方がとても新鮮でした。

確かにその場を理解し、読んで、アドリブで調整することは相当なパラメーターが必要です。そのパラメーターをどう数値化するのにも必要になると思います。

研修開催報告



心理的安全性研修実施報告

先日、とある企業の管理職様向けに心理的安全性研修を実施させて頂きました。講師は、一般社団法人心理的安全性アンバサダー協会 代表理事の横内浩樹さんです。

横内さんは、インプロとコメディを掛け合わせた形で、心理的安全性研修を実施している人気講師の一人です。

今回の研修でも、楽しく、学びながら、お互いの距離感をぐっと近づける研修ができ、最後の発表でも大いに盛り上がりました。